

# 第5回 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会

## 議事要旨

開催日 : 2026年3月6日(金) 19:00~20:30  
開催場所 : 清瀬市男女共同参画センター会議室1・2  
出席者 : 別添出欠簿のとおり

### 1. 開会の挨拶

- 松本会長より挨拶
- ・前回意見をいただき、パブリックコメントでも意見をいただいたかと思う。今回でビジョンを取りまとめ完成としたい。【松本会長】

### 2. 資料確認並びに本日の流れについて説明

- 事務局より資料の確認・説明

### 3. 第4回会議録の公開について

- ・前回の会議録はメール・郵送にて共有したが、再度ご確認いただき、問題なければ後日市のHPに掲載する。【事務局】

### 4. パブリックコメントの結果について

- 事務局より資料の説明
  - ・何か意見はあるか。【松本会長】
- ⇒意見なし。

### 5. パブリックコメントの意見に対する回答とビジョンへの反映について

- 事務局より資料の説明
  - ・何か意見はあるか。【松本会長】
- ⇒意見なし。

### 6. 【最終版】清瀬駅周辺の未来構想ビジョンについて

- 事務局より資料の説明
  - ・何か意見はあるか。【松本会長】
- ⇒意見なし。
- ・パブリックコメントの結果のページについて、結果を確認できるURLを掲載すると良い。【松本会長】

### 7. 今後のスケジュールについて

- 事務局より資料の説明
  - ・パブリックコメントの結果は、市のHPとファイルで閲覧できるようにする。【事務局】
  - ・何か意見はあるか。【松本会長】
- ⇒意見なし。

## 8. その他

### ○委員より感想・意欲

- ・子どもが生まれるタイミングで清瀬へ転入した。清瀬は自然が多く、今後も住み続けたいと考えている。今回自治会長となったことから参加した。市には今後も頑張っていたきたい。【委員】
- ・今日で2回目の出席である。仕事の関係で欠席が続いていたが、今年是可以る限り参加したい。【委員】
- ・まちなかオープンハウスは情報発信としてよい取り組みである。南口でも実施できればよいと考える。また、清瀬駅周辺の人出は半分ぐらい新座市に住んでいると思うがその調整をどのように行うのか気になる。【委員】
- ・具体化されていない部分はまだ多いと感じる。パブリックコメントの結果についても、ビジョンに反映されていないものが多い印象であり、反映が難しいのだと感じた。【委員】
- ・生まれも育ちも清瀬である。最終的に非常に良いビジョンになっていると感じている。自分の子や孫の世代を見据えた内容になっており、良いと思う。今後、少しでも清瀬のまちを明るくできるよう、微力ながら取り組んでいきたい。ビジョンに記載された内容はすぐには実現しない部分もあるが、力を合わせて取り組めば実現できるのではないかと。【委員】
- ・パブリックコメントではバスに関する意見が多く驚いた。同時に期待として受け止めている。公共交通機関は目的そのものではなく、出かけるための手段である。ビジョンを基にまちの賑わいを目指すゴールに向け、持続可能な交通機関として利便性と安全性を両立させながら関わっていききたい。【委員】
- ・本ビジョンは丁寧に取りまとめられていると感じた。清瀬駅は沿線の中でも乗降数が多い駅である。本ビジョンを指針として、清瀬市および地域の皆様などと連携し、良いまちづくりを進めていきたい。【オブザーバー】
- ・現状の北口の交通島は広く、可能性が大きいと考えている。タクシースペースを縮小する、島上にペDESTリアンデッキを設置するなど、共存の方向性には賛成であり、協力していきたい。【委員】
- ・思いの込められた良いビジョンに仕上がったと思う。長期ビジョンの中で、この1年で下書きができ、これから色を付けていく段階と理解している。その過程で協議があると思うので、引き続き協力したい。【オブザーバー】
- ・市民としてこの場に参加できたことをありがたく思う。子育て世代の知人とも、この協議会のことや駅周辺のことについて話をすると、やはり多くの意見が出る。ビジョンを作り、これからどう動くかが重要だと感じている。最近転職し、清瀬駅を利用しなくなったことで、通勤以外の使い道がなかったことに気付いた。今後の駅周辺の変化を楽しみにしている。【委員】
- ・数年前に清瀬が良いまちだと感じて転入した。次世代が誇りを持てるまちになってほしいと考えて参加したが、良いビジョンにまとまったと思う。パブリックコメントでは曖昧だとの意見もあったが、これまで存在しなかったビジョンを作ったこと自体が大きな一歩である。都市や空間を一度に変えるのは難しいが、地道な取り組みの積み重ねが大切だと考えている。【委員】
- ・当初は駅周辺の未来構想を考えたことがなかった。自分は駅周辺に農地を持ち、畑を営んでいるため、意見を伝えようと参加したが、むしろ自分自身が未来を見ていなかったことに気付かされた。清瀬駅にこれまで関わっていなかったとも言える。今回のビジョンを見直しながら、自らもその一部で生活し仕事をしていることを再認識し、未来を考えていきたい。皆の思いを聞き、ビジョンを作ることの意義を強く感じた。【委員】
- ・北口・南口で花の植栽を行ってきたが、このような場に参加したのは初めてである。パブリックコメントを読むと、確かにそのとおりだと感じる点が多い。松本会長が第1回で「10年、20年、30年先を考える会議」と述べていたが、今回参加してその意味を理解した。【委員】
- ・未来構想ビジョンが完成したが、これをどの程度基本計画に反映できるかが重要である。その後、用地取得や道路整備にも努めていきたい。【委員】
- ・委員の皆様には1年間議論いただき感謝申し上げます。清瀬駅周辺整備は大きな事業であり、そのスタートとして未来構想ビジョンを取りまとめていただいた。これを基に様々な取り組みを進めていくので、今後ともご支援をお願いしたい。【委員】
- ・本日も安全性が十分でない箇所を通過して南口から北口へ歩いてきた。町中華が減り、気軽に瓶ビールが飲めなくなってきたのは残念である。市としても財源確保など苦勞が多いと思うが、皆の意見を聞きながら進めることが重要である。これからの厳しい現実に向き合うことになるが、楽しく進めていきたい。【副会長】
- ・これは最初の一歩であり、今後も時間を要する。また、個々の事情も踏まえて調整しながら進めていくことになる。今回のビジョンは、市が方向性を示し、市民と対話しながら進めていく姿勢を示したものであり、皆で取り組む方向性が共有できたと受け止めている。具体化が難しい部分もあり、踏切など越えなければならない課題が多いことも見えてきたが、それらも含め、清瀬市の最重要課

題として進めようとする市の覚悟を感じた。市の担当者も何らかの動きを起こそうとしているため、ぜひ関わっていただきたい。時間はかかるが、忘れずに継続していくことが重要である。覚悟を決めるタイミングも必要である。来年度は、市の予算整理も踏まえ、課題をどのように乗り越えていくかをもう少し具体的に検討したい。小さな社会実験も繰り返していきたいので、協力をお願いしたい。【松本会長】

- ・南口でもオープンハウスを、という意見があったが、今回オープンハウスを企画した際、南口の方が交通の便に問題を抱えていることもあり開催を検討したものの、実施できるスペースがなく、南口には人が集える場所がないことを改めて認識した。今後、何らかの試みを行いたい。また、ビジョンへの反映が難しいとの指摘について、いただいた意見に対し回答を作成する中で、もっともな意見であっても現段階では応えられず心苦しい部分があった。具体的取組内容等は簡単に決められることではないので、これからも皆様の意見を伺いながら慎重に進めていきたい。はじめの一步を踏み出ただけで進まない、という状況にならないよう、推進力を持って進めていきたい。交通事業者には、今後の駅前整備におけるネットワーク面での協力をお願いしたい。私自身、勤務先が清瀬駅のため利用しているが、正直仕事以外ではあまり訪れず、商業施設のある東久留米駅のほうがよく利用する。これも課題の一つである。行政側の立場にいるが、目的を持って訪れる一人の利用者でもあるため、当事者意識を持ち、市民の皆様と同じ視点で関わり推進していきたい。【事務局】
- ・皆さまの意見を反映できてよかった。第一歩としてビジョンをまとめることができたことは、大きな意味を持つと考える。市として駅周辺のビジョンを公に示したのは今回が初めてであり、市民に方向性を示すことができた。長い道のりではあるが、誇りに思える駅づくりを進めていきたいので、今後も協力をお願いしたい。【事務局】

以上